

第16回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和6年4月24日（水曜日）15時00分から15時15分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎14階 14D会議室（オンライン会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鶴川 正樹 監査法人ナカチ／公認会計士

川口 貴史 公益財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務副部長（契約・調達課長事務取扱）

滝口 広子 北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士

中山 正晃 東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第一課長

（2）事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

ア 東京2025世界陸上競技選手権大会周波数管理支援業務委託【資料2】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

（ア）本契約は、大会の運営にあたって、国内外の放送事業者や各国の選手団等が持ち込む多数の無線機器や日本国内の既存の無線局が、有害な混信のない状態で円滑に運用できるようにするため、周波数調整等の業務を委託するもの。

（イ）主な業務として、全体運営取りまとめ（無線機器の周波数調整等に係る全体運営計画の策定）、周波数調整（周波数調整手法の検討、運用の準備、周波数調整）、大会会場等における無線関連業務（無線機器検査、持ち込み規制等）を行う。

<質疑・意見など>

鶴川：本案件の業務内容は非常に特殊であり、委託できる事業者の数が限られている。予定価格の妥当性をきちんと検証するとともに、実際の執行にあたっては検査の時に実績を確認する必要がある。

川 口：財団の契約・調達委員会においても、過去の類似大会の契約実績との比較に加え、国土交通省の単価等を準用した財団独自の試算などにより、予定価格の妥当性についてしっかり検証を行った。

(3) 委員長によるまとめ

・契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

(4) 閉会